

第二学年〇組 学級活動指導案

指導者 伊東 勇治

題材 かたづけよう みのまわりのもの

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、登校後、自分の靴を所定の場所に置いたり、教室では、ランドセルや荷物をロッカーや引き出しにしまったりして、自分の持ち物を整理整頓できるようになってきている。そこで、自分の身の回りの物をきれいに保つことが、心地よさや見た目の美しさや使いやすさに気付くことができるとともに、身の回りの物を自分から整理整頓することによって、周りの友達のことにも気遣うことができるようになるこの期に本題材を取り上げる。そして、教室がきれいに保たれることによって、学習に集中して取り組んだり、友達と気持ちよく過ごしたりするよさを実感できるようにする。このことは、自分の整理整頓を見直し、他人に頼るのではなく、自分のことは自分で行うという基本的な生活習慣を身に付ける子供を育む上からも意義深い。
- 本題材は、学校で普段使用する引き出しや棚を自分から片付けることによって、自他共に気持ちよく生活することができることに気付き、改善に向けて目標を立てて努力し、主体的に取り組むことができるようにする。このことは、本学級の子供たちにとって、整理整頓に関する自己の課題に気付くことができるとともに、自主性や自立性といった自己指導能力の素地を育むために適した題材である。
- 本題材の指導にあたっては、整理整頓をすることが自分だけでなく、周りも快適に生活できるようになるといったことを理解し、整理整頓に関する目標を意思決定することができるようにする。特に本時指導にあたっては、まず、導入段階では、自分と友達の引き出しの中を見て、互いの片付け方を比べたり、どちらが物を早く取り出せるかを試したりして、整理整頓に関する自己の課題から本時学習のめあてをつくることができるようにする。次に、展開段階では、整理整頓ができていない原因を追求したり、整理整頓をする価値を話し合ったり、友達と解決策を明らかにしたりしながら、整理整頓をすることが、見た目の美しさや使いやすさにつながることをとらえることができるようにする。さらに、整理整頓した引き出しを初めの自分の引き出しと使いやすさや見た目のよさから比べたり、棚を片付けたりすることによって、自分も周りも気持ちよくなることをとらえることができるようにする。最後に、終末段階では、自分に合った整理整頓の仕方を意思決定することができるようにする。

目標

- (1)身の回りを整理整頓することが見た目の美しさや使いやすさにつながるだけでなく、自他共に快適に過ごすことができることを理解したり、自己の課題に合った整理整頓の仕方を身に付けたりすることができるようにする。
- (2)これまでの自分の生活を振り返って、整理整頓に関する課題に気付いたり、その解決策を話し合ったりして、自己の課題に合ったよりよい整理整頓の仕方を意思決定し、課題解決に向けて行動することができるようにする。
- (3)自己の整理整頓に関する目標に向かって、日常化を図るために、繰り返し実践したり、改善の必要性を感じながら繰り返し試したりして、整理整頓することを習慣化し、進んで楽しい学校生活を過ごそうとする態度を育てる。

計画（1時間＋課外）


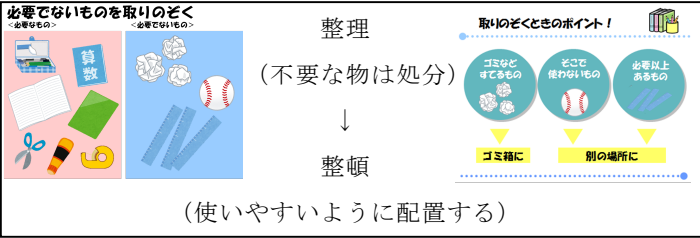


- 整理整頓に関する実態を把握させる。—————課外
- 1 整理整頓できない原因を追求させたり、改善策を見いだしたりして、意思決定させる。—————①本時
- 本時で意思決定したことを基に実践し、継続的に行動を振り返らせる。—————課外

本時 令和2年5月〇日（〇曜日） 1校時 2年〇組教室において

- 主眼 1 身の回りの物を整理整頓すると見た目がよくなったり、使いやすくなったりするとともに、自分も周りの人も気持ちよくなるということが分かり、自己の課題に合う個人目標を意思決定することができるようにする。
- 2 見た目のよさや使いやすさといった観点がわかる資料を基に解決方法を話し合ったり、整理整頓する前後の引き出しや棚の取り出しやすさを比べたりして、自分の整理整頓の仕方を改善することができるようにする。

準備 整理整頓に関する実態調査、写真、学習ノート、整理整頓の仕方に関する資料、個人カード

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
導入	<p>1 友達と引き出しの片付け方を確認したり、どちらが早く引き出しの物を取り出せるのか試したりして、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>友達と引き出しの片付け方と比べたり、どちらが早く物を取り出せるかを試したりする活動</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・～さんと比べて、整理整頓ができていないな。 ・プリントやファイルが重なって取りにくいな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> <p>自分のせいり・せいとんを見直そう。</p> </div>	<p>○自分の整理整頓に関する課題を明らかにさせるために、事前にこれまでの自分の整理整頓に関する写真や実態調査を提示したり、友達と引き出しの片付け方を比べ合ったりする活動を設定したりする。</p>
展開	<p>2 整理整頓ができていない原因や整理整頓するよさを追求したり、そのための解決策について話し合ったりする。</p> <p>(1) 整理整頓ができていない原因や整理整頓をする必要性について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>整理整頓ができていない写真を見て、原因を探る</p>  </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・使う物と使わない物を一緒にに入れてしまうから ・場所が決まっていないから ・使わない物がたくさん入っているから </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>・整理整頓をすると見た目がよくなる。使いやすくなる。</p> </div> <p>(2) 見た目や使いやすさといった観点から、解決策について話し合ったり、整理整頓をしたりして、友達と確認したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">置く場所を決めるようにする</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">よく使う物を手前に置く</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">処分したり家に持ち帰ったりする</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> <p>整理整頓した引き出しを初めの自分の片付け方と比べる活動</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>みんなが使う棚の中は整理できているかなあ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>自分だけでなく、誰もが使いやすさや見た目のよさが続くように整理整頓すると、自分も周りの人も気持ちよく過ごすことができる。</p> </div>	<p>○整理整頓ができていない原因を明らかにさせるために、整理されていない引き出しや棚の写真を提示する。</p> <p>○自分の課題に合った整理整頓の仕方を意思決定できるようにさせるために、整理整頓に関する資料を提示したり、整理整頓した引き出しの物の取り出し方や見た目のよさを確認したりする場を設ける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>せいとんのポイント!</p> <p>しきりをつけておぼしよをきめる</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>せいとんのポイント!</p> <p>よくつかうものを手前におく つかったらものぼしよにもどす</p>  </div> </div> <p>【資料：整理整頓の仕方を理解する資料】</p> <p>○整理整頓をすることによって、周りの人も気持ちよく過ごすことができるといったことをとらえさせるために、学級で共通に使用する棚の整理整頓をする場を設ける。</p>
終末	<p>3 整理整頓に関する課題を解決するための個人目標を立てる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>・これからは、自分だけでなく、周りの友達も気持ちよくなるように、引き出しだけでなく、棚も自分から整理整頓を続けていきたい。</p> </div>	<p>○決めた整理整頓の方法を継続して実行させるために、3日間の実践が振り返ることができる個人カードを準備する。</p>

本題材の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援
課外	<p>1 自己の整理整頓に関する課題を明らかにするために、これまでの学校生活や家庭生活を振り返り、本題材のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓された引き出しや棚と自分の片付け方を比べる活動 ・実態調査をする。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; display: inline-block;"> <p>ぼくは、使った物をそのままにしておくことがあり、よく先生や家の人から注意されることが多い。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>自分のせりりせいとんを見直し、かたづけ名人になるための方法について考えよう。</p> </div>	<p>○自己の整理整頓に関する課題をもたせるために、児童や保護者に実態調査をしたり、個人の整理整頓に関する写真を準備したりする。</p>
45 本時	<p>2 実態調査を基に、自己の整理整頓の課題を解決するために、問題の原因を考えたり、解決方法について話し合ったりして、自己の整理整頓に関する個人目標を決める。</p> <p>○整理整頓ができていない原因を考えたり、整理整頓をする必要性について話し合ったりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・使う物と使わない物を一緒に入れてしまうから。 ・もらったプリントを上に積み重ねてしまうから。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>整理整頓するよさとは何だろう？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・見た目がよい。 ・使いやすい、取りやすい。 </div> <p>○整理整頓ができるための解決策について話し合い、話し合ったことを基に引き出しの整理整頓をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>整理整頓の仕方とは？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">使う物と使わ ない物に分ける</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">元にあった場所に 戻す</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">処分したり、家に 持ち帰ったりする</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>整理整頓した引き出しを初めの自分の片付け方と比べる活動</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>みんなで使う棚の中は整理できているかなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>自分だけでなく、誰もが使いやすさや見た目のよさが続くように整理整頓すると、自分も周りの人も気持ちよくすごすことができる。</p> </div> <p>○整理整頓に関する課題を解決するための目標を立てる。</p>	<p>○整理整頓ができていない原因を明らかにさせるために、整理されていない引き出しや棚の写真やVTRを提示する。</p> <p>○自分の課題に合った整理整頓の仕方やよさを理解させるために、整理整頓に関する資料を提示したり、片付けた引き出しを友達と再確認したりする場を設ける。</p> <p>○決めた整理整頓の方法を継続して実行させるために、3日間の実践が振り返ることができる個人カードを準備する。</p>
課外	<p>3 自分が決めた目標を実生活で実践し、その実践を朝の会や帰りの会で定期的に評価して、自分の成長について実感する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【朝の会】 めあてを意識</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【学校生活】 整理整頓の実践</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【帰りの会】 めあての振り返り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【家庭生活】 繰り返し実践</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">家庭と連携 ← 称赞・助言・意欲付け</p>	<p>○実践の習慣化・日常化につなげさせるために、保護者と連携して繰り返し実践する場を設ける。</p>

第2学年 題材配列案（35時間）

学校教育目標：21世紀を担う人間力の基礎を身につけた子供の育成 めざす子供像 せ： 「せいちょうする子」 い： 「いい心の子」 か： 「かしこい子」		
--	--	--

重点目標～深く学ぶ子供の育成～ 目的に向かって学び合い、根拠を明確にして表現する子供

学級目標「友達と学び合い、学級生活を楽しくする子」 合い言葉「笑顔」

3学期の重点 自他のよさを生かし、学級生活を楽しむ【自信や承認】 8時間 ※ここでは、第3学年としての自覚や自信をもつことに重点を置く。

	学級活動（1）	学級活動（2）	学級活動（3）
3月	学級お別れ会をしよう（ア）		いよいよ3年生（ア）
2月	思い出を形に表そう（ア） 私や学級の成長を振り返ろう（ア）		わたしや学級の成長を振り返ろう（ア）
1月		助け合って当番をしよう（エ） じょうぶな体をつくろう（ウ）	3学期のめあて（ア）

2学期の重点 友達のよさをみつけて、学級生活を楽しむ【役割や満足感】 13時間 ※ここでは、特に学級での居場所づくりや自己の役割を果たすことに重点を置く。
--

	学級活動（1）	学級活動（2）	学級活動（3）
12月	2学期頑張ったね会をしよう（ア）	冬休みの過ごし方（ウ）	2学期の成長を振り返ろう（ア）
11月	ペア学級と交流しよう（ウ） 学級のじまんをつくろう（ア）	自分や友達のよさをみつけよう（イ）	
10月	教生の先生とお別れ会（ウ）	時間までに食べよう（エ） 目を大切に（ウ）	
9月	係の仕事を見直そう（イ）	きそく正しい生活をしよう（ア）	2学期のめあてを立てよう（ア） 楽しい運動会にしよう（ア）

1学期の重点 自分のよさを出して、学級生活を楽しむ【所属感・仲間意識】 14時間 ※特にここでは、基本的な生活習慣の形成と人間関係形成に重点を置く。

	学級活動（1）	学級活動（2）	学級活動（3）
7月	1学期がんばったね会をしよう（ア）	夏休みの過ごし方（ウ）	1学期をふりかえって（ア）
6月	学級の旗をつくろう（ア） 仲良し集会をしよう（ア）	気持ちのよいあいさつ（ア） わたしのいいところ（イ）	
5月	ペア学年と交流しよう（ウ） 係活動を工夫しよう（イ）	かたづけようみのまわりのもの（ア）【本題材】	当番のやくわり（イ）
4月	係を決めよう（イ）	学級目標をつくろう（イ）	2年生になって（ア）